

(その4)

工場又は事業場の名称	JFE コンテナ株式会社 千葉工場
------------	----------------------

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1) の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる（一部に課題がある。）。	削減目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。	計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

課題①	弊社受注状況によって生産量が毎年変動しており、塗料の使用状況に影響します。 平成30年度は、生産量が前年度比並みであり、揮発性有機化合物排出量が目標達成となりました。ただし、今後の景気回復動向によって受注状況が更に増加傾向となる場合には、目標達成が困難な年度となる可能性が考えられます。
対策①	製品品質維持を前提にしておりますが、外面・内面塗装工程の塗料・シンナーの原単位削減を継続して推進して参ります。
課題②	昨今、弊社製品であるドラム缶塗装品質要求レベルが年を追う毎に厳しくなっており、顧客から厳しい要望が増加している状況に御座います。 設備更新や改造を実施して品質向上させておりますが、顧客の満足できる品質レベルを維持すべく、塗装手直しや作り直しが発生しております。
対策②	塗装手直し低減化を目的として、塗装工程の更なる設備改善（塗装面の美麗化）や設備維持管理を推進して対応いたします。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。